

研究に関する情報公開及び研究協力をお願い

独立行政法人国立病院機構甲府病院(以下、甲府病院)では、下記の研究を行っています。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「お問い合わせ先」へご照会ください。

なお、この研究に参加しているほかの方の個人情報や、研究の知的財産などは、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 新型コロナウイルス感染症(以下、新型コロナとする)治療薬(レムデシビルとモルヌピラビル)の診療症状改善とウイルス量減少効果の特徴

[研究責任者] 独立行政法人国立病院機構甲府病院 小児科医師 望月美恵

[研究の背景] 新型コロナ治療薬として複数の薬剤による治療が可能であるが、その効果、特にウイルス量の減少については不明な点が多いです。当院では新型コロナ患者専用病棟への患者の入院時、重症心身障害者病棟でのクラスターの発生時に、新型コロナ治療薬(レムデシビルあるいはモルヌピラビル)の投与を行い、隔離解除、一般病棟への転棟の判断のため、発熱などの臨床症状とともにウイルス量減少効果をPCR検査のCt値により評価し、病床管理を行っています。

[研究の目的] 使用薬剤のなかで2種類の間での臨床症状経過とPCR検査のCt値の推移に特徴を認めため、退院の難しい患者の登記隔離解除にむけた治療を提案します。

[研究方法]

●対象となる患者様：2022年10月29日～2023年2月28日までに甲府病院に入院し、基礎疾患を有す新型コロナ患者と入院・入所中に新型コロナを発症した患者で、レムデシビルあるいはモルヌピラビンを投与し、臨床経過とPCR検査での追跡が行えた患者。

●研究期間：2022年10月29日～2023年2月28日

●利用するカルテ情報：年齢、性別、体重、血液データ

●情報の管理：あなたから提供されたデータから住所、名前等が削られ、代わりに新しい符号をつける匿名化を行うため個人が特定されることはありません。あなたとこの符号を結びつける対応表は流出しないように研究者が厳重に管理します。

[研究者の所属]

望月美恵 独立行政法人国立病院機構甲府病院 小児科医長
齊藤健太 独立行政法人国立病院機構甲府病院 薬剤部 薬剤師
板子和恵 独立行政法人国立病院機構甲府病院 看護部 感染管理対策係長 看護師長
沢登恵美 独立行政法人国立病院機構甲府病院 特命副院長

[個人情報の取り扱い] この研究の結果は学会・論文で報告し、公表する予定です。またデータベース上で公表することもあります。いずれの場合も公表する結果は統計的な処理を行ったものだけとし、あなたの個人情報は一切公表しません。

[研究の参加について] この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力をいただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡ください。研究にご協力いただけない場合でも診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

独立行政法人国立病院機構甲府病院
小児科医長 望月美恵
電話 055-253-6131(代表) FAX 055-251-5597